

飯坂ロータリークラブ 週報

創立 昭和33年(1958)5月5日
 ガバナー 早川 敬介
 ガバナー補佐 阿部 次雄
 会長 生田目 正志
 幹事 渡辺 達也

2024-25年度
 地区スローガン
**ロータリーを
 楽しもう!**
 ENJOY ROTARY LIFE!

2024 - 2025 年度 ◆ 例会日 / 木曜日 12:30 ◆ 例会場 / かむろみの郷 穴原温泉 **ほのこころ** 吉川屋
 RI会長 ステファニー・A・アーテック 事務局 / 〒960-0201 福島市飯坂町字湯町3 6-6 TEL 070-8322-7988 FAX (024)505-4058
 マクマーラーRC (アメリカ・ペンシルベニア州)

通算

10月は地域社会の経済発展月間 / 米山月間

第13回 [3173] 例会報告 令和6年(2024)10月17日(木)

出席委員会報告

会員総数	39名
出席会員	24名
欠席会員	15名
出席率	61.53%

言行はこれに照らしてから
「四つのテスト」

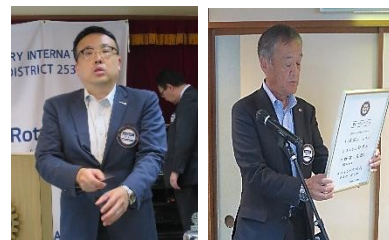
1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

◆開会点鐘 菅野浩司 副会長

◆ロータリーソング [それでこそロータリー] 白岩裕和 ソングリーダー

◆四つのテストの唱和 千葉政行 職業奉仕委員

◆お客様紹介
 県北第二分区ガバナー補佐 阿部 次雄 様 福島北RC
 県北第二分区幹事 大和田知昭 様 福島北RC
 福島北ロータリークラブ 佐藤 雅彦 様



【 10月の奥様お誕生日 】 …♪♪♪ おめでとうございます ♪♪♪

10月 17日 菅野征子様(浩司会員) 10月 23日 川又麻理様(康彦会員)
 10月 30日 横山昌美様(辰徳会員)

♪ 今週の誕生日 ♪♪♪ 10月 28日 白川 敏明 会員 ♪♪♪ ロータリーソング 四つのテスト

.....lunch time.....

◆副会長の時間 菅野浩司 副会長



本日は、ガバナー補佐訪問ということで、県北第二分区阿部ガバナー補佐、分区幹事の
 大和田様、福島北RCの佐藤様をお迎えしての例会となります。どうぞよろしくお願
 います。さて、10月5日に開催されました、国際交流イベント「ザ・まつり in 飯坂」に
 ご参加いただいた皆様、大変お疲れ様でした。皆様のご協力のおかげで、成功裏に終
 えることができました。ありがとうございました。それから、10月は米山月間となっ
 ておりますので、後ほど佐藤喜市郎米山記念奨学会委員会副委員長から米山奨学
 会の寄付についてご説明をいただきます。また、渡辺哲也ロータリー財団委員
 長より、財団の寄付及びポリオプラス寄付のご案内もあるかと思
 います。寄付のお願いが続きまして大変恐縮ではございますが、ご協
 力のほど何卒よろしくお願いたします。ある方がおっしゃっておりました。「寄
 付はお金のある人がすることではなくて、心のある人がすることなのです。」名
 言ですね！飯坂ロータリークラブの会員の皆様はお金もあるし、心もある方ば
 かりですので、生田目会長も安心して戻ってこれると思っております。

◆幹事報告 渡辺達也 幹事

1. 月信

2. 来信

- 2-1 ロータリー米山記念奨学会より 「ハイライトよねやま 295号」
- 2-2 国際ロータリー第2530地区 ロータリー財団委員会 委員長 林 克重 様より
 「グローバル補助金ゼミナール開催(通知)についてのお知らせ」
 日時: 2024年11月9日(土) 午後1時30分から90分程度
 場所: 国際ロータリー第2530地区ガバナー事務所

3. メーキャップ報告 9/28 社会・国際・R財団合同セミナー 渡辺哲也、油井明則 各会員

【 佐藤真也会員より 】

先日父の葬儀に際しまして、クラブまたメンバーの皆様より多大なるお心遣いを頂戴いたしまして、誠にありがとうございました。国際交流フェスティバル含めクラブ行事にも参加協力できず、また、長期欠席につきまして、改めてお詫び申し上げます。

◆ロータリー財団委員会からの報告とお願い 渡辺哲也 委員長

9月28日に地区R財団、社会奉仕、国際奉仕合同セミナーに私と油井会員が出席してまいりました。第2820地区財団委員会グローバル補助金委員会の雨宮委員長さんのご講演とR財団委員会から地区財団資金の現状報告やグローバル補助金、地区補助金の申請方法等の説明がありました。今月はロータリー財団寄付の月間です。本年度は年次基金、会員一人150ドル(21,300円)のご寄付をお願い申し上げます。また、ポリオプラス月間ですので、任意ですが会員一人30ドル(4,260円)のご協力を、重ね重ねのお願いですがよろしくお願いたします。

◆米山記念奨学会委員会よりご寄付のお願い 佐藤喜市郎 副委員長

今、財団委員長から「重ね重ね」という言葉をいただきましたが、私からも重ね重ね、また重ねてお願いたします。今月は米山月間でもありますので、少し米山のお話をさせていただきます。米山奨学会について、この発端は東京ロータリークラブです。昭和27年、その時の会長が福島喜三次さん、あとは米山梅吉さん、そして、それを確立したのは古澤文作さんでした。昭和32年にロータリー会員みんなで寄付金を出し合って、外国人留学生だけではなく、一生懸命に勉強しようという人に奨学金を出そうということで始まっております。そういった交流を踏まえ、災いのない世界をつくっていきましょうということなのです。米山奨学金には特別寄付と普通寄付が

ありますが、ロータリー会員全員から普通寄付としていただくということで基本財産を確立しております。もう一つ、特別寄付はお金がある人ではなく、気持ちのある人が寄付をさせていただきたいということで発足しました。私からのお願いとして、特別寄付について、その理由をご理解賜り、新たに私も奨学会に協力したいという方は、よろしくお願ひしたいと思います。皆様のご協力をお願いいたします。

◆スマイリングBOX 堀切孝敏 委員 【合計118s】

- | | | | |
|----------------|---------|---------|-------------------------------------------------------------------------|
| 東北第二分区分区ガバナー補佐 | 様より | 11,000円 | |
| 東北第二分区分区ガバナー補佐 | 阿部次雄 様 | 5,000円 | 本日、第2回目のクラブ訪問です。スピーチをさせていただきますので宜しくお願い申し上げます。 |
| 東北第二分区分区幹事 | 大和田知昭 様 | 2,000円 | 本日は宜しくお願い申し上げます。 |
| 佐藤 真也 会員 | 50s | | 東北第二分区分区ガバナー補佐、大和田分区分区幹事をお迎えして父の葬儀に際し、お世話になりありがとうございました。長期欠席おわびとして |
| 生田目正志 会員 | 10s | | 阿部ガバナー補佐、大和田分区分区幹事、佐藤様をお迎えして 間もなく復帰しますので宜しくお願い致します。 |
| 菅野 浩司 会員 | 5s | | 本日は、東北第二分区分区ガバナー補佐の阿部様、分区分区幹事の大和田様、福島北RCの佐藤様をお迎えして。本日も会長代理を務めさせていただきます。 |
| 渡辺 達也 会員 | 5s | | 阿部ガバナー補佐、大和田分区分区幹事、佐藤様をお迎えして 本日はよろしくお願ひ致します。 |
| 吾妻 一夫 会員 | 5s | | 阿部ガバナー補佐、大和田分区分区幹事、ゲスト佐藤様をおむかえして |
| 嶋 隆章 会員 | 5s | | 阿部ガバナー補佐、分区分区幹事、佐藤雅彦様をお迎えして |
| 渡辺 哲也 会員 | 5s | | 妻の誕生日にお花をいただきありがとうございました。 |
| 佐藤 晋市郎 会員 | 5s | | ガバナー補佐様をお迎えして |
| 斎藤 孝裕 会員 | 3s | | 東北第二分区分区ガバナー補佐の阿部様、分区分区幹事の大和田様、おいでいただきましてありがとうございます。 |
| 村上 裕司 会員 | 3s | | 阿部ガバナー補佐、大和田分区分区幹事、佐藤さんをおむかえし宜しくお願い致します。 |
| 小笠原尚史 会員 | 3s | | ガバナー補佐訪問を記念して |
| 石川 邦俊 会員 | 3s | | ガバナー補佐をお迎えして |
| 川又 康彦 会員 | 2s | | ガバナー補佐をお迎えして |
| | | | 堀切 孝敏 委員 3s ガバナー補佐様をお呼びして |
| | | | 加藤 淳 会員 3s ガバナー補佐をお迎えして |
| | | | 千葉 政行 会員 1s ・まつり欠席おわび ガバナー補佐をお迎えして |

◆ゲストスピーチ

「心の成長の時代をしなやかに」 東北第二分区分区ガバナー補佐 阿部次雄 様



皆さん、こんにちは。まずもって生田目会長がいらっしゃらなくて、びっくりいたしました。ご自分の体と戦っているということで、元気で戻られることをお祈り申し上げ、お見舞い申し上げる次第です。私も新聞で拝見しましたが、34年前から始まっている国際交流フェスティバルは素晴らしい活動をなさっています。おめでとうございました。今回の私の一年間のテーマですが、「心の成長の時代をしなやかに」という、このテーマでお話をさせていただきたいと思ひます。

その前に、先ほど渡辺幹事からもありましたが、3年後のガバナーに東クラブの網代さんが決定いたしました。我が第二分区分区は、なかなかガバナーさんを排出するのに苦労してきた経緯があり、東クラブさんも一生懸命に検討なさって、こういう結果になりまして、私も本当にほっとしております。先日、緊急に会長・幹事会をやらせていただき、その時が来たら、もちろんコ・ホストになるのは当然ですが、第二分区分区全体で手伝いをして、分区分区が一丸となって成功に導こうという約束事を書き残し、その時にあたりたいというお願ひをしておりますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

それでは、PowerPoint を使ってお話しさせていただきます。私自身の今回のテーマですが、最近のは心の時代だとよく聞くとお願ひします。先日の教育テレビのEテレでも、心の時代というテーマで特集を組んでおりました。内容についてですが、RIのテーマが少し入っておりまして、あとは地区の早川ガバナーの方針を入れさせていただきました。この下の『戦後日本のパラダイムの変遷についての考察』について、これを一番にお話ししたいと思ひます。日本社会のパラダイムということ、これまでの全体的なところをカテゴリー的に分けると、江戸時代前をよく「知足按分」、その後、明治時代から昭和20年の戦後までを「富国強兵」、戦後から平成の終わりまでは「経済成長至上主義」、そして、これからの時代を「心の成長の時代」と位置付けられます。これについて、昨年の右近ガバナーがガバナー月信の中で、これからの時代は自立共生社会だと掲げておりました。それでは、これからの時代の話と戦後の昭和20年からのパラダイムのお話をしたいと思ひます。昭和20年から15年刻みで分けるとすごくぴったり来るのですが、昭和20年から昭和35年までを戦後ですので「不足の時代」、35年から50年までを日米安保体制から「不安の時代」、そこから50年から65年、平成の境目までを日本列島改造ブームだった「不満の時代」、平成元年から15年間にバブル経済があったと思ひますが、それを「大競争時代」と位置付け、平成15年からちょうど30年で令和になりますが、そこが「進歩の時代」、この辺から経済至上主義の終焉を迎え、新たな時代になるのだと思ひており、ちょうど令和になり「心の成長の時代」は、レジリエンス的発想と言ひまして、この「レジリエンス」というのは、「困難をしなやかに乗り越える」「タフである」「復元力がある」というわけですが、そういったことについて、これから大事にしていかななくてはならない時代なのだとお願ひします。特に人間の感性や創造性、他者とのつながりというものを大事にしていかななくてはならない、新たな価値観の転換なのです。これから我々は、ロータリーも含め、人間として生きていくために大事なことは、地域化と継続性による組織成長の確保や日本の精神性と言ひますか、最近自分だけ良ければ良いという方が増えていますので、ひょっとすると、昔あった家庭教育、地域教育、学校教育という中で、欠落している部分があるのではないかとお願ひします。先ほど、菅野副会長も言ひましたように、寄付というのはお金があるからではなく、心があるということの中で、我々、できる立場にいる者が普通にやれることの素晴らしさを楽しみながら、考えながら、ロータリー活動をしていかななくてはならないと思ひておるところです。

最後に、向社会的行動におけるモチベーションということで、これは普通の人が普通の行動するのが社会的行動ですが、学者的な考え方をすると、それは向社会的な行動となります。今、テレビで問題になっている緊縛事件などは反社と言ひますが、あれが反社会的行動となります。そうすると、我々が当たり前に向社会的行動において生活をしているという中で、三つの基本な要求とは、ロータリー活動においても欠かすことはできません。ここに「関係性」「有能性」「自立性」とある通り、外的報酬を期待することなく、自由な意思により他者に利益・恩恵を与える行動ということ、改めて自分に問いかけながら成長していきたいと思ひ、この話をさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

◆閉会点鐘 副会長